

2022年度 つむぎつつじヶ丘ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について	
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.5	スタッフ一人ひとりが美観を保てるよう心掛けております。いつ誰が来ても気持ちよく使っていただける施設を目指しております。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	4.0	各スタッフの経験を活かし、支援に活かしていただけるよう努力してまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.6	スタッフ同士連携し、休憩や事務時間を確保しています。今後も継続して休憩や休暇が取れやすい職場を目指していきます。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		スタッフ同士が連携をとりながら、お子さまの支援に携われるようスタッフ全員で心掛けてまいります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	4.3	働きやすい施設を目指し、スタッフ一人ひとりができることを計画、実践し、改善に向けて具体的な対策を実行する習慣をつけていけるよう努力してまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.4	保護者様へのアンケート調査の結果を受けて、スタッフ間で話し合い、改善に向けて具体策を見出し、早急に対応することを心掛けております。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.4	自己評価結果は法人ホームページと2階つむぎカフェにて掲示しております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.4	第三者評価は未実施ですが、法人内部監査を通して業務改善や質の高い支援の提供ができるよう取り組んでおります。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.4	法人内外の研修についての情報共有を常に行っております。各スタッフがスキルの向上が図れるよう努めてまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		各スタッフ、それぞれの業務量を把握し、期限内に完結できるよう努力しております。必要に応じてお互い協力し合い、より良いルーム運営に努めております。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.8	お子さまの発達段階や特性を把握し、つむぎで使用しているアセスメント項目に沿って実施し、お子さまに合った支援の内容を検討するように努めております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.3	アセスメントを通して、保護者様のご要望を踏まえ、お子さまのご様子から個々に合った個別支援計画を作成し、定期的に見直しを行っております。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.1	各スタッフがお子さまの支援計画を把握し、目標に沿った支援を提供するように努めております。必要に応じてスタッフ同士で意見交換を行い多角的にお子さまの姿を捉え、成長につながる支援を提供してまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3.8	スタッフ一人ひとりが、1回の支援の重要性を理解し、お子さまに合わせたプログラムを工夫していけるよう努力してまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.4	マンスリー・ビジター支援と共にプログラムやスタッフの動きの共有を引き続き行い、お子さまに合った継続した支援の提供ができるよう心掛けてまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.3	各スタッフ、支援後の振り返りの大切さを理解し、気づいたことを共有し合い、次回の支援につなげ、継続した支援を提供できるよう努力してまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.4	毎支援後に、支援のねらいと内容と共に、お子さまのご様子と保護者様との共有内容を記録し、次の支援へ繋げております。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	4.0	個別支援計画は、適用期間内に提示しております。支援計画を作成するか過程において各スタッフが見通しを持って取り組みやすい仕組みを作っております。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.4	児童発達支援ガイドラインと保育所保育指針に沿って、お子さまに必要な経験が積み重ねられるよう活動や遊びを提供しております。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		法人理念に沿いながら、自らやりたいと思う気持ちを大切に、子ども一人ひとりに合わせた支援の提供を心掛けています。
保護者との関係連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.4	支援後の振り返りの際、保護者様へお子さまのご様子や支援内容の詳細をお伝えさせていただいております。ご家庭でのご様子もふまえてお子さまの成長に携わっていただけたらと考えております。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	4.4	できる限り、お子さまの所属園や他事業所での様子伺い、ご要望に応じて直接外部機関ともやり取りさせていただき、お子さまにとって必要な支援の提供を心掛けております。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	4.4	施設長を中心として、地域事業所の連携会に参加し情報交換を行い、スタッフとも共有を行い、相互理解へとつながるよう努力しております。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	4.4	保護者様のご要望に応じて、就学支援シートや児童連絡票を通してお子さまの情報を共有し、円滑に新しい環境へ移行していけるよう努めております。

保護者との関係連携について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.3	常時、東京都など行政機関で行われている研修や情報共有を行っております。研修に参加するスタッフが限られているため、今後は積極的に参加するスタッフが増えるよう努めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.5	施設長からスタッフ皆が、地域とつながることを大切にしています。会議での内容の共有を行い、より良いルーム運営へと繋げてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.8	保育園との併設という強みと恵まれた環境の中で、さまざまなお子さまが関わり合える機会を設けています。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	4.4	保育園の子育て支援と連携し、地域に向けた行事やイベントの発信を行っております。今後、さらに地域とつながる行事の企画を行い、地域に開かれた事業運営を行ってまいります。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.3	特に親子グループでは、お子さまの理解や対応の仕方を学べる機会となることをねらいとして、保護者支援を行っております。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		各スタッフに合った研修の提案や日程調整を行い、積極的に参加できる環境を整えてまいります。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.5	限られた時間内に契約や利用に関する内容を丁寧に説明できるよう心掛けております。情報量が多いため、一度の説明では分かりにくいこと不明な点がございましたらスタッフにお声がけ下さい。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.4	保護者様一人ひとりに寄り添い、悩みや相談事などお伺いするよう努めてまいります。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.4	保護者様同士がつながれる機会を就学イベントや保護者懇談会以外にも設けていけるよう企画・実施を行ってまいります。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.6	ご意見や苦情を受けた際には、施設長へ報告し、スタッフ間で共有し改善や解決に向けて早急な対応を行うよう心掛けております。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.3	保護者様との情報共有は口頭やルーム内の掲示にて行っております。保護者様への口頭での情報共有は、お伝え忘れや共有内容に相違が出ないようスタッフ間で共有し、確実にお伝えができるように努めております。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.5	支援内容の説明や個別支援計画は、誰もが分かりやすく理解していただけるよう心掛けております。
	Q38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	4.8	全スタッフ、個人情報の管理を徹底して行っております。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.4	朝礼と終礼だけでなく、支援の前後の話し合いを通して、スタッフ同士が情報共有できる時間と仕組みを設けています。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		ご意見を受けた際は、迅速に対応することを徹底しています。利用者様からのすべてのご意見を真摯に受け止めスタッフ間で共有し、早急に改善するよう努めてまいります。
	非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.4
Q42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.5	月1回以上、園つむぎ合同避難訓練を行ない、振り返りと反省のもと有事の際に迅速な対応ができるよう訓練を重ねております。
Q43		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.4	子どもの虐待と権利擁護に関する研修を年1回以上行い、子どもの人権を守ることを大切に支援を提供しております。
Q44		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.6	ヒヤリハットは、終礼時に共有を行い、月1回園つむぎ合同の事故防止委員会にて検証を行い大きなケガや事故を防ぐための対策を考え実施しております。
Q45		非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		避難訓練を通して、有事に備えて具体的な対策を講じ、実施することでスタッフ全員が率先して対応できる力をつけていけるよう努力してまいります。
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.5	お子さまに「楽しい」と感じてもらえるような工夫を行い、興味関心がさらに広がるよう支援してまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.6	お子さまの「できた」経験を共に喜び合い、共有し合える仲間として支援に携わってまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		スタッフ同士、お互いの良さや特徴を理解し、尊重し合える関係性が構築できたらと考えます。各スタッフの主体性が高まるよう、支え合いながらお子さまの成長に必要な経験を積み重ねられるよう努力してまいります。

アンケート実施期間：2022年8月12日～9月5日

全回答数：8

つむぎ つつじヶ丘ルーム

施設長 ローズ 亜紀